



小原竹山城主新免伊賀守
岩倉寺再建のこと

長尾村宝倉山岩倉寺は、往古役の小角（行者）の開基と云われ、本尊不動明王、本堂は観世音、古は大伽藍が建ち並び行徳日増しに輝き、大変繁栄しておりましたが延文の頃（1361）山名伊豆守時氏父子が、影石村にあった山城塔ノ尾城（赤松氏支配）を攻略した戦いがあり、この時仏閣に放火するなどの乱暴を働き氣勢を挙げ威武を揮っていました。岩倉寺もこの時兵火に罹って遺燈も空しく消えておりました。

明応年間（1492～1500）に小原竹山城主（旧大原町）新免伊賀守は新免一族の祈禱寺と定められて、寺坊等を建立してその後の営繕保全の為、寺領として田三町歩及び米10石を寄付されて法燈護持に寄与されました。この当時寺の営域に阿弥陀坊、地藏坊、薬師坊、北の坊、本坊の五坊を建立されたと伝えられています。

元亀元年（1570）正月18日竹山城主新免伊賀守宗貴が、岩倉寺観音へ家中の侍もお供して参拝された時にお堂が殊の外傷み大破している状況をご覧になって、大層心痛され直ちに住持宥教法印と相談されて、新免備中守、同備後守を呼び観音堂の修造を命ぜられました。宥教法印は費用の勘定目録を認めて差出し、伊賀守も之を許容されて御堂は七間四方と定め、材木、人足は領内より提供したと新免家古書に記録されています。元亀二年の春の末に御堂は完工し棟を上げるようになった時、寺内に如何なる事情があったか定かでないが、夜討事件が勃発し法印は討たれ従って堂の棟木が上がらなかったと古書により伝えられています。

塔ノ尾城は影石城、堂の尾城とも云われ、標高約七百米の高所に在って、影石地区福井勝巳氏宅裏の谷を通称城が谷と呼んでいます。此の谷を登り詰め梢々南よりに又、同地区福井俊治氏宅裏山（寺山）を登りつめた辺り一際高い場所に凡そ130mの平地があって此所が城跡ではないかと云われています。（県文化課調査書による）

今月の村税

個人村県民税（第1期）
国民健康保険税（第1期）
納期限：6月30日（水）

◎納期限にご注意いただき、納税をお願いいたします。
口座振替の場合は残高確認をお願いいたします。
お問い合わせ先：西粟倉村役場総務企画課・保健福祉課

たばこは村内で買ひましょう

人の動き

平成22年5月1日現在

- 人口 1,607人（-4）
- 4月中の移動
- 男 747人（-3） 出生 2人 死亡 2人
- 女 860人（-1） 転入 7人 転出 11人
- 世帯数 551戸（±0）

お誕生おめでとう

中野百合花^{ゆりか}ちゃん 4月19日生まれ（別府住宅）
お父さん 治さん
お母さん 洋子さん

ディブレテ フラビオ^{ゆうま}裕麻ちゃん
5月5日生まれ（猪之部）
お父さん カル口さん
お母さん 麻紀さん

熊橋^{きえ}彩恵ちゃん 5月6日生まれ（別府住宅）
お父さん 繁樹さん
お母さん しのぶさん

幸せ多い人生を

河野 智さん（猪之部）
（谷本）和枝さん（美作市）

お悔やみ申し上げます

青木 幸子さん（別府） 5月3日 85歳

善意の窓

（村社会福祉協議会から）
平成22年4月20日～平成22年5月19日

おめでとうございます

猪之部 河野 智様 本人 結婚内祝
下土居 春名 静男様 二男 佑亮様 結婚内祝

お大事にしてください

影石 萩原 敏郎様 本人 退院内祝
引谷 小椋 貞子様 本人 退院内祝
大茅 上山 梅男様 本人 退院内祝

ご冥福をお祈りします

坂根 田中 貞己様 亡母 ぬい子様 香典返し